

デスクオルガン E 型

---

DE-37S

---

取扱説明書

YAMAHA

このたびはヤマハデスクオルガンE型DE-37Sをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、末永くご愛用下さいますよう、お願い申し上げます。  
お読みになった後は大切に保管して下さい。わからない事や不具合が生じた時、きっとお役に立ちます。

## ■ 主な特長

1. **美しくクリアな音色**：音作りにヤマハ独自のAWM音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。
2. **音色数**：音色は鍵盤楽器、管楽器、弦楽器から6種類。さまざまなアンサンブル活動に大きな効果を発揮します。
3. **音域変換機能**：37鍵ですが音域切替スイッチにより61鍵分の音域をカバーできます。
4. **MIDI対応**：デスクオルガンE型としては初めてのMIDI端子を装備。これからの時代に対応し、可能性が広がります。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

### 記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	<b>注意</b> 感電のおそれあり キャビネットをあけるな		注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。 点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
---	--------------------------------------	---	---

⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、⚠は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、⚠は注意が必要なことを示しています。

🚫 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

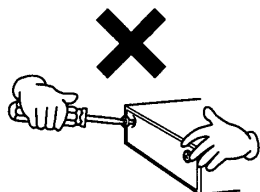
## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



(アース付き電源プラグの場合)アース線を確認に取り付ける。感電のおそれがあります。(アース線の取り付け方については付属の取扱説明書をご参照ください。)



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



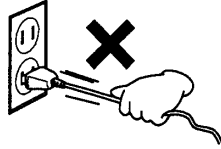
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

# ⚠️ 注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

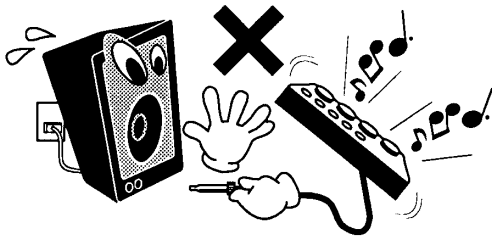


❗ 手入れまたは移動をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
プラグが変形するおそれがあります。

❌ タコ足配線をしていない。  
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

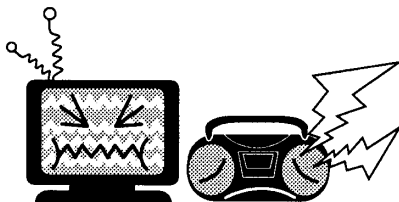
❌ 電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、転倒や衝撃を与えないよう静かに運搬する。  
衝撃は故障の原因となります。

❗ オルガン付属の専用椅子、または別にお求めのオルガン椅子は、オルガンの演奏用以外に使用しない。  
・オルガンの椅子を遊び用具や踏み台にすると、椅子が転倒したり壊れたりして、事故につながる恐れがあります。  
・同時に二人以上で使用すると、姿勢や椅子に無理が生じ、事故につながる恐れがあります。オルガンの椅子は二人以上で使用しないでください。  
・椅子の脚はボルトで締め付けてあります。長い間使用していると、ゆるんでくることがありますので、ときどき締め直してお使いください。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損する原因になります。

❌ (放熱ファンや放熱用スリット付きの製品の場合) 本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。(エレキトーンやクラビノーバの場合) 本体を壁につけない。  
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

❗ ヘッドフォンを振り回さない。  
人に当たってけがをする恐れがあります。

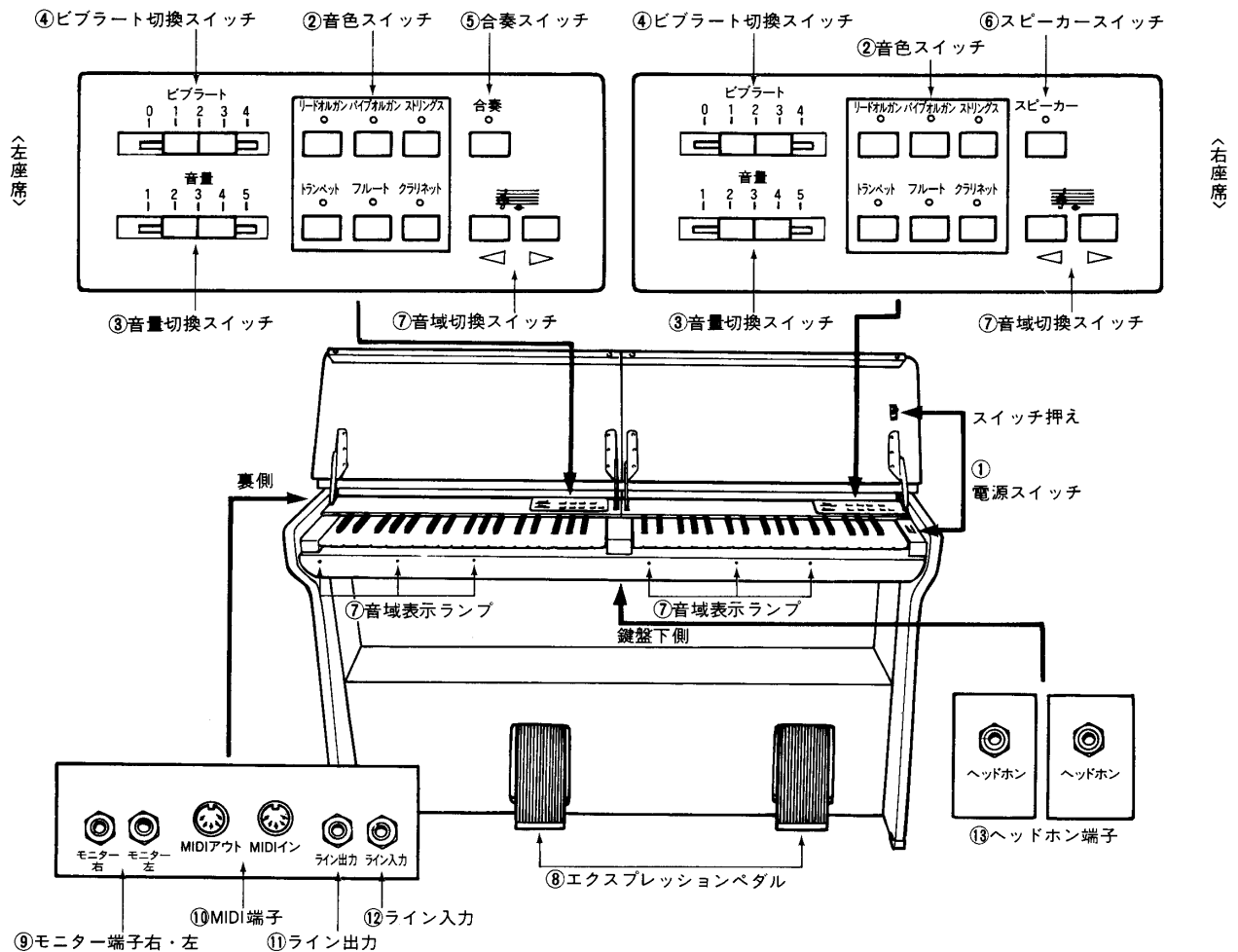
❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

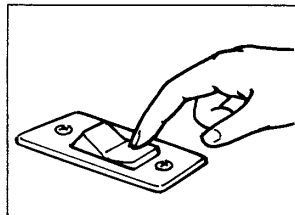
## 各部の名称



## 操作と機能

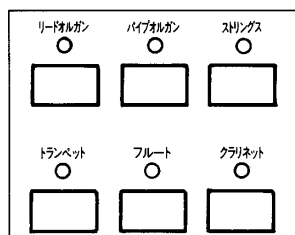
### ①電源スイッチ/スイッチ押え

電源スイッチを入れると、音色スイッチの「リードオルガン」「スピーカー」「音域表示」のランプが点灯します。電源を入れて1秒程すると演奏可能な状態になります。スイッチ押えは、電源スイッチを切り忘れても、蓋を閉めた時に自動的にスイッチを切る仕組みになっています。キーボードアンプ等を接続して使う場合、電源を入れる時はDE-37Sから先に、切る時は、キーボードアンプから先におこなってください。また、電源スイッチON/OFFのときにはヘッドホンは、耳からはずしてください。



### ②音色スイッチ

音色を選ぶスイッチです。スイッチを押すとスイッチの上にあるランプが点灯します。DE-37Sは、鍵盤楽器、管楽器、弦楽器など6種類の音色を持っています。



### ③音量切換スイッチ

音量を5段階に切換るスイッチです。エクスプレッションペダルを一杯に踏み込んだ時の最大音量を、この切換スイッチで決めます。目盛りは1は小さく、5は大きくなります。

### ④ビブラート切換スイッチ

音の高さを小刻みに上下させ、音に潤いを与える効果です。切換スイッチは0~4段階で0にすると効果はかからず、1は小さく4にすると効果は大きくなります。パイプオルガンとストリングスには、この効果はかかりません。

### ⑤合奏スイッチ

ヘッドホンをつけて学習する時、合奏スイッチON(ランプが点灯)にすると、相手の音を聞きながらアンサンブルができ、合奏スイッチOFF(ランプが消える)にすると、自分の音だけ聞こえ、個人練習に集中できます。

### ⑥スピーカースイッチ

スピーカースイッチON(ランプが点灯)にすると本体スピーカーから音が流れ、スピーカースイッチOFF(ランプが消える)にすると本体スピーカーの音は切れ、へ

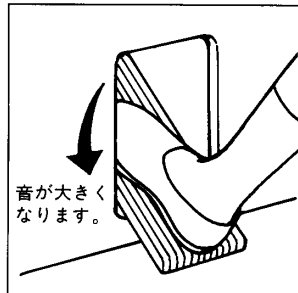
ッドホンを使って静かに学習出来ます。スピーカースイッチONの時は、合奏スイッチはききません。

### ⑦音域切換スイッチ/表示ランプ

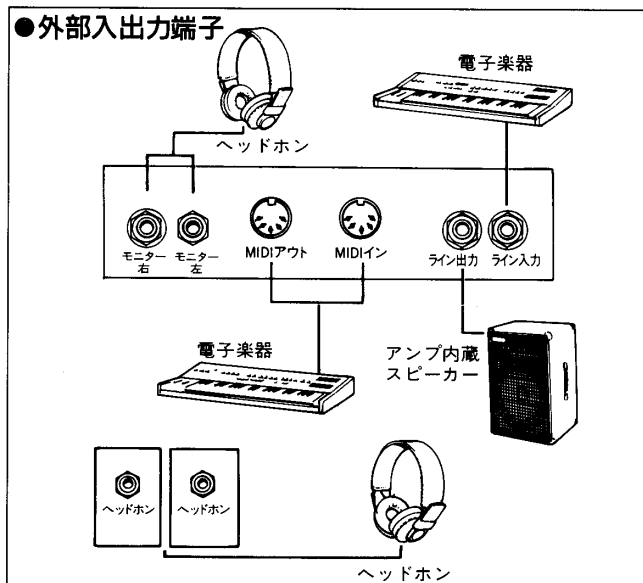
スイッチを押した方向に中央ド(C3)の位置が移動し、鍵盤手前の表示ランプに示されます。これにより61鍵分の音域をすべてカバーします。

### ⑧エクスペッションペダル

音量をコントロールするペダルです。踏み込む深さによって音量をコントロールできますので、演奏中に音に強弱をつけることができます。また、ペダルは踏み込んだ位置で止まります。



### ●外部入出力端子



※ライン出力、ライン入力は標準ジャックです。規格の違うプラグを接続する場合(電子楽器、アンプ内蔵スピーカーなど)には、プラグアダプター(市販品)を使用して下さい。

### ⑨モニターヘッドホン右・左(標準ジャック)

ヘッドホン学習の時、先生がそれぞれの児童の学習状況を聞きたい時、この端子にヘッドホンを差込めばモニターする事が出来ます。

### ⑩MIDIアウト/イン

MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDIケーブルを使って、MIDI対応のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。

### ⑪ライン出力(標準ジャック)

カセットデッキに接続して演奏を録音したり、アンプ内蔵スピーカーやステレオのアンプに接続して、より迫力のあるサウンドを楽しむ事も出来ます。

### ⑫ライン入力(標準ジャック)

他の電子楽器の音をオルガン本体のスピーカーから出したい時に使います。

### ⑬ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。棚板下についています。ヘッドホンは電子楽器専用品を使用して下さい。(YHE-90M)

### ●ピッチコントロールについて

他の楽器と合奏する時など、音程を微調整したい時には次のようにします。

(1)電源をOFFの状態にします。

(2)右席パネルの6種類の音色スイッチが下記のピッチに対応しています。

- トランペット (A=439)
- フルート (A=440)
- クラリネット (A=441)
- リードオルガン (A=442)
- パイプオルガン (A=443)
- スtringス (A=444)

合わせたいピッチに対応するスイッチを押しながら電源スイッチをONにして下さい。

例：トランペットの音色スイッチを押しながら、電源スイッチONにするとピッチは439Hzになります。

(3)普通に電源スイッチをONにした場合のピッチは440Hzです。

# MIDIについて

## MIDIとは…?

デスクオルガンE型DE-37Sには、先進のエレクトロニクス楽器ならではの楽しみ方ができるMIDI端子がついています。このMIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface(ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)を略したもので、電子楽器どうしをMIDIケーブルで接続し、音程や音の長さといった演奏の情報などをお互いに交換するためのものです。また、MIDIは世界の電子楽器の統一規格ですから、どこのメーカーの製品でも、MIDI端子がついていれば演奏情報の交換をすることができます。

## 接続方法について

DE-37SのMIDI端子には、アウト端子(送信側)とイン端子(受信側)があります。

接続は、専用のMIDIケーブルを使いますが、オーディオのDINケーブルと酷似していますので注意して下さい。なお、オーディオのDINケーブルをMIDI端子には絶対接続しないで下さい。故障の原因になります。

DE-37S から演奏の情報を送る場合はアウト端子に、情報を受けてDE-37S の音源を使って音をだす場合はイン端子に接続してください。(MIDIを使って情報交換できるのは、あらかじめMIDI端子をそなえた機器に限られます。)

### MIDIアウト／イン端子

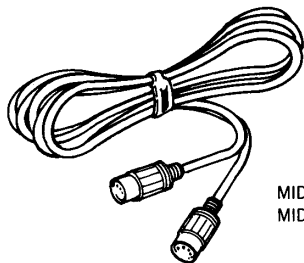


MIDIアウト



MIDIイン

### 接続に使うMIDIケーブル

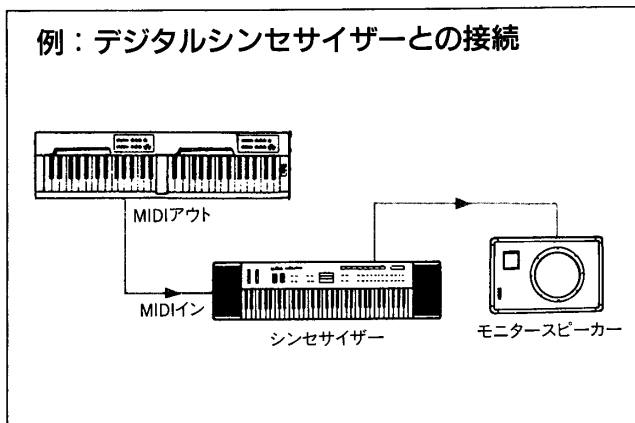


MIDI-15 (15m)  
MIDI-03 (3m)

## 楽しみ方の例

### ●DE-37Sを演奏して他のキーボードとアンサンブル

#### 例：デジタルシンセサイザーとの接続



図のようにDE-37SのMIDIアウトとシンセサイザーのMIDIインを接続すれば、DE-37Sを演奏するとシンセサイザーからも音を出すことができます。

つまり、DE-37Sの鍵盤を押さえた情報が瞬時にシンセサイザーに伝わり、音程や音の長さなどの同じ音がシンセサイザーからもでて、厚みのある演奏ができるのです。この時、音色は別々に指定できますので、DE-37Sのフルートの音色にシンセサイザーのストリングス系の音色を組み合わせると楽しむなど、工夫次第でいろいろなアンサンブルをつくりだすことができます。

# DE-37S MIDI インプリメンテーションチャート

[デスクオルガンE型]

Model DE-37S

MIDI インプリメンテーションチャート

Date :1992.7.30

Version :1.00

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1-2チャンネル ×	1-2チャンネル ×	右席 = 1 左席 = 2
モード	電源ON時 メッセージ	×	×	
ノートナンバー	音域	36-96 *****	21-108 36-96	
ペロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH,V=96 ○ 9nH,V=0	○ V=1-127 ○ 9nH,V=0,8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	01 07 11	○ ○ ○	○ ○ ○	モジュレーション ボリューム エクスプレッション
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 00H-05H *****	○ *1	
エクスクルーシブ		×	×	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアルタイム	クロック コマンド	×	×	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	×	×	
備考		*1:01H:トランペット 02H:フルート 03H:クラリネット	04H:リードオルガン 05H:パイプオルガン 06H:ストリングス	

モード1:オムニ・オン、ポリ  
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ  
モード4:オムニ・オフ、モノ

○:あり  
×:なし

## 故障とお考えになる前に

故障ではないかと思いいなったら、下記の事項をご確認下さい。それでも正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は電源スイッチを切り、電源プ

ラグをコンセントから外して、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA 電気音響アフターサービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼下さい。

どんな状態ですか	ここが原因	こうすればOKです
音がまったく出ない。	エクスプレッションペダルが踏み込まれていない。	適切な音量にセットして下さい。
時々、ガリッとかポツンという雑音が入る。	ごく近くで電気器具の電源をON/OFFしたり、電気ドリルなどを使っている。	原因と思われる電気器具からなるべく離れたコンセントを使って下さい。
ラジオやテレビなどに雑音が入る。	本機のごく近くでラジオやテレビなどを使っている。	なるべく離れたコンセントをお使い下さい。
音が割れる。 (共鳴する、あるいはビリつく)	オルガンの音は持続音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。	音量を小さくするか共鳴物を取り除いて下さい。



## 仕 様

音 源	AWM音源
鍵 盤	37鍵 Cスケール (3オクターブ) × 2
音 色	6音色 リードオルガン、パイプオルガン ストリングス、トランペット、 フルート、クラリネット
効 果	ビブラート
コントロール	ピッチコントロール、電源スイッチ 音量レバー、エクスプレッションペダル ビブラートレバー、音域切換スイッチ スピーカーON/OFFスイッチ 合奏ON/OFFスイッチ
外部入出力端子	ヘッドホン×2、モニターヘッドホン×2 MIDI (IN/OUT) ライン (IN/OUT)
メインアンプ	15W
スピーカー	20cm
定格電圧・周波数	AC 100V (50Hz/60Hz)
定格消費電力	28W
寸 法	間口119cm・奥行44cm・高さ75cm
重 量	36kg
仕上げ	マウンテンウォルナット仕上げ
標準装備品	椅子×2

**YAMAHA**  
ヤマハ株式会社

## 1. 保証

当製品の保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

## 2. 保証書

当製品納入の際、保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認ください。

## 3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が当製品をご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1年間の無料修理をお約束申し上げるものです。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただくことがございますので、必要に応じていつでもご提示いただけますよう保管してください。

また、後々の修理に際しての機種種の判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますので、保証期間が過ぎましても大切に保管してください。

## 4. 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い求めいただいた楽器店にご連絡ください。

## 5. 保証期間経過後の修理

満1年間の保証期間が切れますと修理は有料となりますが、引続き責任をもって修理させていただきます。補修用性能部品（製品本来の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後8年となっております。

## 6. 修理をご依頼になる前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。
2. ご依頼いただいた修理にお伺いした際、故障でないような場合には、点検料と出張経費などの実費をいただきます。
3. 機種によりましては、サービス拠点への持込修理をお願いするものがあります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 7. 修理のお約束について（出張修理の場合）

1. できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。
2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早く修理をご依頼されたお店にご連絡ください。
3. 修理ご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも裏面サービス拠点までご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

## お客様へのご案内

### ●ヤマハサービスネットワーク

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

#### ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西 1-1-50 ヤマハセンター内	Tel. 011-512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	Tel. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月 1184	Tel. 044-434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ（株）和田工場内	Tel. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区玉川町 2-1-2 ヤマハ（株）名古屋流通センター3F	Tel. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ（株）千里丘センター内	Tel. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町 8-7 （株）ヤマハミュージック神戸 高松店内	Tel. 087-822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原 6-14-14	Tel. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	Tel. 092-472-2134
[本社] CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ（株）和田工場内	Tel. 053-465-1158

#### 管教育楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道支店	〒064-8543	札幌市中央区南10条西 1-1-50 ヤマハセンター内	Tel. 011-512-6122
仙台支店	〒980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10	Tel. 022-222-6146
東京支店	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11	Tel. 03-5488-1672
名古屋支店	〒460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28	Tel. 052-201-5166
大阪支店	〒542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9 心斎橋プラザビル東館	Tel. 06-6252-5341
九州支店	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	Tel. 092-472-2155
管教育楽器事業部 国内営業部	〒430-8650	浜松市中沢町 10-1	Tel. 053-460-2405

※記載されている事項は予告なく変更されることがあります。

改訂 000720